

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月12日

上場会社名 美津濃株式会社

上場取引所 東大

コード番号 8022 URL <http://www.mizuno.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 明人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務担当 (氏名) 福本 大介

TEL 06-6614-8465

四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	123,179	—	3,527	—	1,922	—	△152	—
20年3月期第3四半期	130,110	9.5	5,644	22.4	5,501	13.9	2,872	△22.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△1.22	—
20年3月期第3四半期	23.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	136,344	78,165	78,165	81,425	57.2	625.87
20年3月期	144,169	81,425	81,425	81,425	56.4	651.73

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 78,007百万円 20年3月期 81,260百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
21年3月期	—	5.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	3.00	8.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	164,000	△5.8	3,500	△55.5	1,700	△77.2	△1,000	—	△8.02

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

①会計基準等の改正に伴う変更 有

②①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

①期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 132,891,217株 20年3月期 132,891,217株

②期末自己株式数 21年3月期第3四半期 8,252,292株 20年3月期 8,208,367株

③期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 124,661,164株 20年3月期第3四半期 124,770,018株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.平成20年10月24日に公表いたしました通期連結業績予想を修正しております。なお、業績予想に関しては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

2.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

3.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の日本経済は、世界的な金融危機が深刻化し、円高・株安が企業業績を圧迫、海外における急速な景気後退を要因とする輸出の大幅な落ち込みと、悪化する雇用情勢を背景にした消費者心理の冷え込みなど、極めて厳しい状況となりました。

海外経済は、米国経済が引続き急速かつ深刻な後退を見せ、個人消費も急速な冷え込みが進みました。また、ユーロ圏経済も金融危機の影響が本格化し、輸出の減少や個人消費の急低下など景気の後退が深刻化する展開となりました。

スポーツ品業界においては、トップスポーツ選手による世界的なスポーツ大会のみならず、各地で開催される地域密着型スポーツ大会への関心が高まりつつあり、こうした文化としてのスポーツへの関心は、学校や地域に根ざした競技スポーツ分野や、趣味や健康増進として個人の生活スタイルに根ざした健康スポーツ分野の堅調な動きに影響いたしました。しかしながら、世界的な景気の悪化を背景にした買い替え需要の伸び悩みなどで、レジャー性の高い高価格帯の商品などを中心に厳しい展開となりました。

このような情勢において、当社グループの国内事業では、ユーザーが求めるパフォーマンスを支えるとともに情緒的な感性にも応えることをマーケティング戦略の中核とし、各種スポーツ大会などでのブランド露出を拡大してまいりました。しかしながら、景気に対する先行きの不透明感が増す中、ゴルフ品の販売が振るわず十分な成果を達成することができませんでした。欧州及び米州においては、国内市場と同様にゴルフ品の販売の落ち込みが激しかったとともに、為替の変動により発生した差損が大きく業績に影響いたしました。一方では、専門店や地域スポーツ大会などを基点に高い機能性や専門性を訴求することで、ランニング専門誌より高い評価を受けている「ミズノウェーブ」搭載のランニングシューズの売上が堅調に推移いたしました。アジア市場では、これまで成長が持続していた中国において、競合状況の激化による供給過剰が進み、市場の飽和状態が進んだため厳しい状況となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績については、売上高は1,231億7千9百万円、営業利益は35億2千7百万円、経常利益は19億2千2百万円となりました。純損益に関しましては、株式相場の大幅な下落により、投資有価証券評価損15億1千1百万円を計上したことにより、四半期純損失は1億5千2百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末に比べ78億2千4百万円減少し、1,363億4千4百万円となりました。減少の主な内訳は、受取手形及び売掛金が57億7千5百万円、投資有価証券が15億6千9百万円です。

負債は、前連結会計年度末に比べ45億6千3百万円減少し、581億7千9百万円となりました。減少の主なものは、コマーシャルペーパーが30億円、その他に含まれる未払費用が22億7千3百万円です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ32億6千万円減少し、781億6千5百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の56.4%から57.2%となりました。

キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、51億3千5百万円の収入となりました。収入の主なものは、売上債権の減少49億8千6百万円、減価償却費22億7千2百万円であり、支出の主なものは、その他に含まれる未払費用の減少22億5千2百万円です。

＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

当第3四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、18億4千6百万円の支出となりました。収入は、主に有価証券の償還11億円、投資有価証券の償還5億4千8百万円によるものであり、支出は、主に有形固定資産の取得19億6千3百万円、投資有価証券の取得14億8千7百万円によるものです。

＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

当第3四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、29億1千6百万円の支出となりました。これは主に長短借入金等借入債務の返済16億6千5百万円、配当金の支払11億8千9百万円によるものです。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ2億1千6百万円増加し、116億4千6百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の連結業績予想に関しては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間より、新たに営業を開始したMIZUNO CORPORATION AUSTRALIA PTY, LTD. を連結の範囲に含めております。なお、同社は特定子会社には該当いたしません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

該当事項はありません。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の算定方法

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②当連結会計年度より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用し、評価基準については、従来の原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。これにより、従来の方法によった場合に比べて、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ22百万円減少しております。

③当連結会計年度より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これに伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,137	10,922
受取手形及び売掛金	30,759	36,534
有価証券	509	1,607
商品	24,763	25,688
製品	509	1,272
半製品	83	86
原材料	1,614	793
仕掛品	1,034	538
繰延税金資産	4,847	4,804
その他	5,756	4,726
貸倒引当金	△910	△789
流動資産合計	80,105	86,186
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	※1 22,420	※1 22,417
土地	15,235	15,249
その他（純額）	※1 2,178	※1 2,360
有形固定資産合計	39,833	40,027
無形固定資産	657	726
投資その他の資産		
投資有価証券	8,054	9,624
繰延税金資産	2,408	1,804
その他	8,591	9,144
貸倒引当金	△3,306	△3,345
投資その他の資産合計	15,747	17,228
固定資産合計	56,239	57,982
資産合計	136,344	144,169

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,255	17,460
短期借入金	11,035	8,981
1年内返済予定の長期借入金	500	3,000
未払法人税等	225	572
返品調整引当金	213	213
その他	8,192	13,882
流動負債合計	37,421	44,110
固定負債		
長期借入金	12,800	11,300
繰延税金負債	463	463
再評価に係る繰延税金負債	3,295	3,297
退職給付引当金	1,019	881
その他	3,180	2,691
固定負債合計	20,758	18,633
負債合計	58,179	62,743
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,137	26,137
資本剰余金	31,197	31,195
利益剰余金	25,918	27,314
自己株式	△2,997	△2,971
株主資本合計	80,255	81,676
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	728	1,341
繰延ヘッジ損益	△696	△597
土地再評価差額金	△1,540	△1,538
為替換算調整勘定	△740	377
評価・換算差額等合計	△2,247	△416
少数株主持分	157	165
純資産合計	78,165	81,425
負債純資産合計	136,344	144,169

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	123,179
売上原価	72,032
売上総利益	51,146
販売費及び一般管理費	※ 47,618
営業利益	3,527
営業外収益	
受取利息	170
受取配当金	132
その他	277
営業外収益合計	580
営業外費用	
支払利息	478
売上割引	257
為替差損	1,335
その他	114
営業外費用合計	2,185
経常利益	1,922
特別利益	
固定資産売却益	3
特別利益合計	3
特別損失	
固定資産売却損	12
固定資産除却損	36
投資有価証券評価損	1,511
訴訟和解金	25
その他	3
特別損失合計	1,590
税金等調整前四半期純利益	335
法人税等	439
少数株主利益	47
四半期純損失(△)	△152

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	335
減価償却費	2,272
退職給付引当金の増減額(△は減少)	573
貸倒引当金の増減額(△は減少)	146
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	1,511
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△2
受取利息及び受取配当金	△303
支払利息	478
固定資産売却損益(△は益)	9
固定資産除却損	36
売上債権の増減額(△は増加)	4,986
たな卸資産の増減額(△は増加)	△254
仕入債務の増減額(△は減少)	79
その他の引当金の増減額(△は減少)	△55
その他	△3,758
小計	6,056
利息及び配当金の受取額	315
利息の支払額	△406
法人税等の支払額	△877
法人税等の還付額	47
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,135
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の償還による収入	1,100
有形固定資産の取得による支出	△1,963
有形固定資産の売却による収入	9
無形固定資産の取得による支出	△123
投資有価証券の取得による支出	△1,487
投資有価証券の売却による収入	2
投資有価証券の償還による収入	548
短期貸付金の増減額(△は増加)	△0
長期貸付金の回収による収入	20
その他	48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,846
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,335
長期借入れによる収入	2,500
長期借入金の返済による支出	△3,500
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	△3,000
自己株式の売却による収入	7
自己株式の取得による支出	△32
配当金の支払額	△1,189
少数株主への配当金の支払額	△38
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,916
現金及び現金同等物に係る換算差額	△154
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	216
現金及び現金同等物の期首残高	11,429
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 11,646

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
※1 有形固定資産の減価償却累計額 32,730百万円 2 保証債務 庄内ゴルフ倶楽部(旧マープ月山 ゴルフ倶楽部)会員の金融機関借 入に関わる保証 53百万円 3 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理 については、当第3四半期連結会計期間の末日 が金融機関の休日であったが、次の当第3四半 期連結会計期間末日満期手形は満期日に決済が 行われたものとして処理している。 受取手形 1,359百万円	※1 有形固定資産の減価償却累計額 31,249百万円 2 保証債務 庄内ゴルフ倶楽部(旧マープ月山 ゴルフ倶楽部)会員の金融機関借 入に関わる保証 60百万円

(四半期連結損益計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
※ 販売費及び一般管理費の主なもの 運賃及び荷造費 2,350百万円 保管費 2,694百万円 広告宣伝費 9,522百万円 貸倒引当金繰入額 280百万円 給料及び手当 13,244百万円 賞与 2,269百万円 退職給付費用 1,424百万円 減価償却費 2,037百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
※ 現金及び現金同等物の当第3四半期連結累計期間末 残高と当第3四半期連結貸借対照表に掲記されている科 目の金額との関係(平成20年12月31日現在) 現金及び預金勘定 11,137 百万円 取得日から3ヶ月以内に償還期限 の到来する短期投資(有価証券) 509 百万円 現金及び現金同等物 11,646 百万円

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金額
I 売上高	130,110
II 売上原価	75,958
売上総利益	54,151
III 販売費及び一般管理費	48,507
営業利益	5,644
IV 営業外収益	752
V 営業外費用	895
経常利益	5,501
VI 特別利益	5
VII 特別損失	811
税金等調整前四半期純利益	4,694
法人税等	1,782
少数株主利益	39
四半期純利益	2,872